

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立浦和高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校を取り巻く環境や、ニーズを踏まえ、将来を見据えて、目指す学校像が設定されている。学校に寄せられる期待に十分応え、学校の特色や強みを更に生かした学校像を模索していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像に掲げられた「時代の求めるリーダーの育成」に向けて学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。目指す学校像を踏まえ、「自走する生徒集団づくり」、「第一志望はゆずらない」という文言を入れるなど学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	企画委員会と分掌・年次・教科が連携し、学校自己評価システムが運営されており、様々な資料から検証も進められている。分掌等が集団力を発揮しながら目標達成を目指す体制が整えられ、方策が実施されている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	企画委員会を中心となって方策を策定し、課題解決のために取り組んでいる。評価指標が教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されており、方策の達成状況を評価するためのものとして適切である。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の教育理念と実現に向けた具体的な道筋を示し、学校の現状や課題を踏まえた明確な学校経営方針を持って取り組んでいる。校長的的確なリーダーシップの下、スーパーグローバルハイスクール事業などの取組を精力的に実施するなど、教職員が共通理解を持って教育活動に取り組み、広く学校の目標や取組について発信するなど優れた取組となっている。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	入学時及び卒業時アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。学校自己評価システムを有効に活用し、前年度の課題を次年度の目標・方策に具体的に生かしているが、更なるスパイラルアップに向けて工夫していただきたい。	
特記事項			